

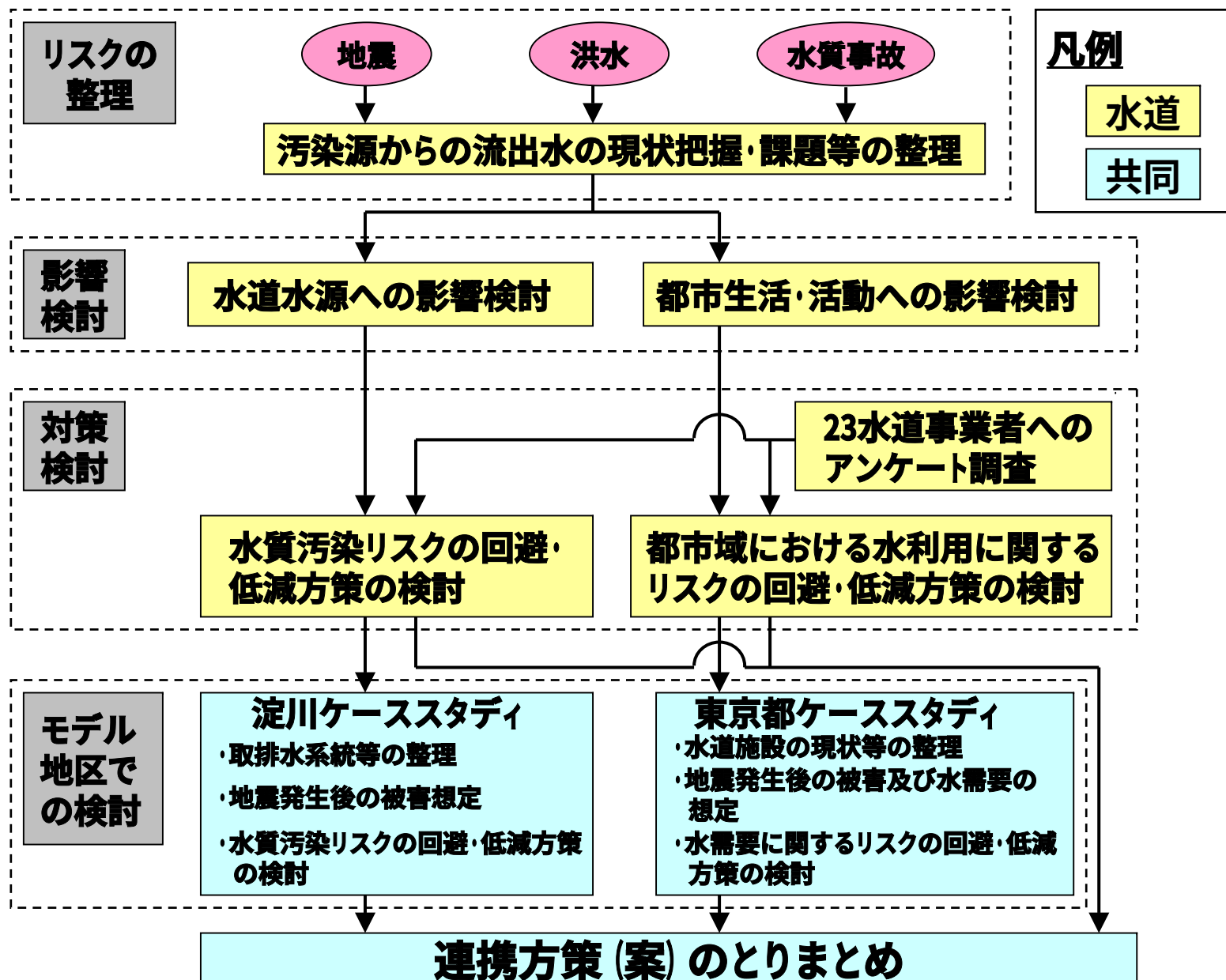
流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

調査内容

- 1. 汚染源からの流出水の現状把握・課題等の整理**
- 2. 汚濁負荷による水道の供給及び都市生活への影響の検討**
- 3. リスク対策の検討**
- 4. モデル地域におけるケーススタディ**
- 5. 緊急時の水質リスクに対応した連携方策(案)のとりまとめ**
- 6. 今後の課題の整理**

流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

調査 フロー



流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

1. 汚染源からの流出水の現状把握・課題等の整理

○代表的な水道施設の被害事例

区分	時期	件名	主な水道施設の被害状況等
地震	S53.1	1978年伊豆大島近海地震	・ シアンを含んだ鉱さいが河川に流出したことによる取水停止。
	S62.12	千葉県東方沖地震	・ 重油が河川に流出したことによる取水停止
	H7.1	阪神・淡路大震災	・ 膨大な管路被害による長期間の断水。 ・ 復旧用水が一時的に不足する事態の発生 ・ 漏水による水圧低下で多くの消火栓については使用不能
	H16.10	新潟県中越地震	・ 周辺地盤の崩壊等による小規模施設の機能停止 ・ 上流の下水処理場の被災による未処理水の流入
洪水	S57.7	長崎大水害	・ 河川の氾濫等による浄水場の水没
	H17.9	H17台風14号による洪水	・ 河川の氾濫による浄水場の水没
水質事故等	H8.6	埼玉県越生町・大規模感染	・ クリプトスポリジウムによる水道水の汚染

流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

1. 汚染源からの流出水の現状把握・課題等の整理

阪神・淡路大震災による水道施設の完全復旧までの期間

市町村名	期 間
大阪府等 7 府県の 3 5 市町村、兵庫県三木市	1 週間以内
兵庫県川西市、東浦町、淡路町	1 週間～1 0 日間以内
// 津名町、一宮町、尼崎市、明石市	1 0 日間～2 週間以内
// 伊丹市	1 6 日間
// 宝塚市	2 1 日間
// 北淡町	2 5 日間
// 神戸市、西宮市、芦屋市	2 ヶ月超※

流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

1. 汚染源からの流出水の現状把握・課題等の整理



滑落した中継ポンプ場
(旧山古志村簡易水道)

水道産業新聞 2005年(平成17年)5月16日(月)版

新潟県中越地震

「一番困ったのは水道」

～富士常葉大学・小川教授が調査～

風呂と洗濯ができない

昨年発生した新潟県中越地震で被災した小千谷市の住民を対象に、ライフラインに関するアンケート調査が実施されており、それによると各ライフラインの停止による困窮度は、水道が突出して「困った」という答えが寄せられた一方、飲料水で困ったという回答は低く、今後の耐震化を考える上で、示唆に富む結果となっている。調査は富士常葉大学環境防災学部の小川雄一郎教授によるもので、今後の解析が注目される。

飲料水は応急給水で確保

アンケートは小千谷市の被災住民8世帯を対象とし、断水1週間地域(25件)の住民に、すべて面談し聞き取り方法、今年2月に実施された、回答

率は100%。質問項目は電気・ガス・水道・下水道・通信(電話)・公共交通・道路の7つのライフライン。これに世帯主の職業や家族の人数、水道関係では井戸の有無や日頃のベットの購入頻度を加え、相互の関連を分析している。現在作業が続けられていて、途中集計において、被災の実態と住民が何を求めているかが明らかにされつつある。

まず、7つのライフラインのうち、当該地域で機能が100%停止したのは水道と電気。道路、ガス、通信がこれ続いて70%以上が機能停止したと応えている。機能停止期間を明らかにした上で、生活する上での困難の程度(5段階)は、水道の停止を「非常に困った」としたのは57件・71%でトップだった。さら

に、ライフラインのうち、困った順位については、水道を1位に挙げたのが42件・53%。これも最も多く、上位3位までに挙げた割合も水道が85%、続いて電気83%と続いている。水道停止により何が困ったかについては、風呂と洗濯に「非常に困った」「かなり困った」の割合がそれぞれ90%・81%と高く、飲料水が「非常に困った」「かなり困った」は31%に止まっている。飲料水の確保の手段として、73件・91%が応急給水と答えており、ペットボトルは5件・6%に過ぎなかった。大規模な震災後の精密なアンケート調査は過去に例が無く、今後の解析が注目される。



小川教授

流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

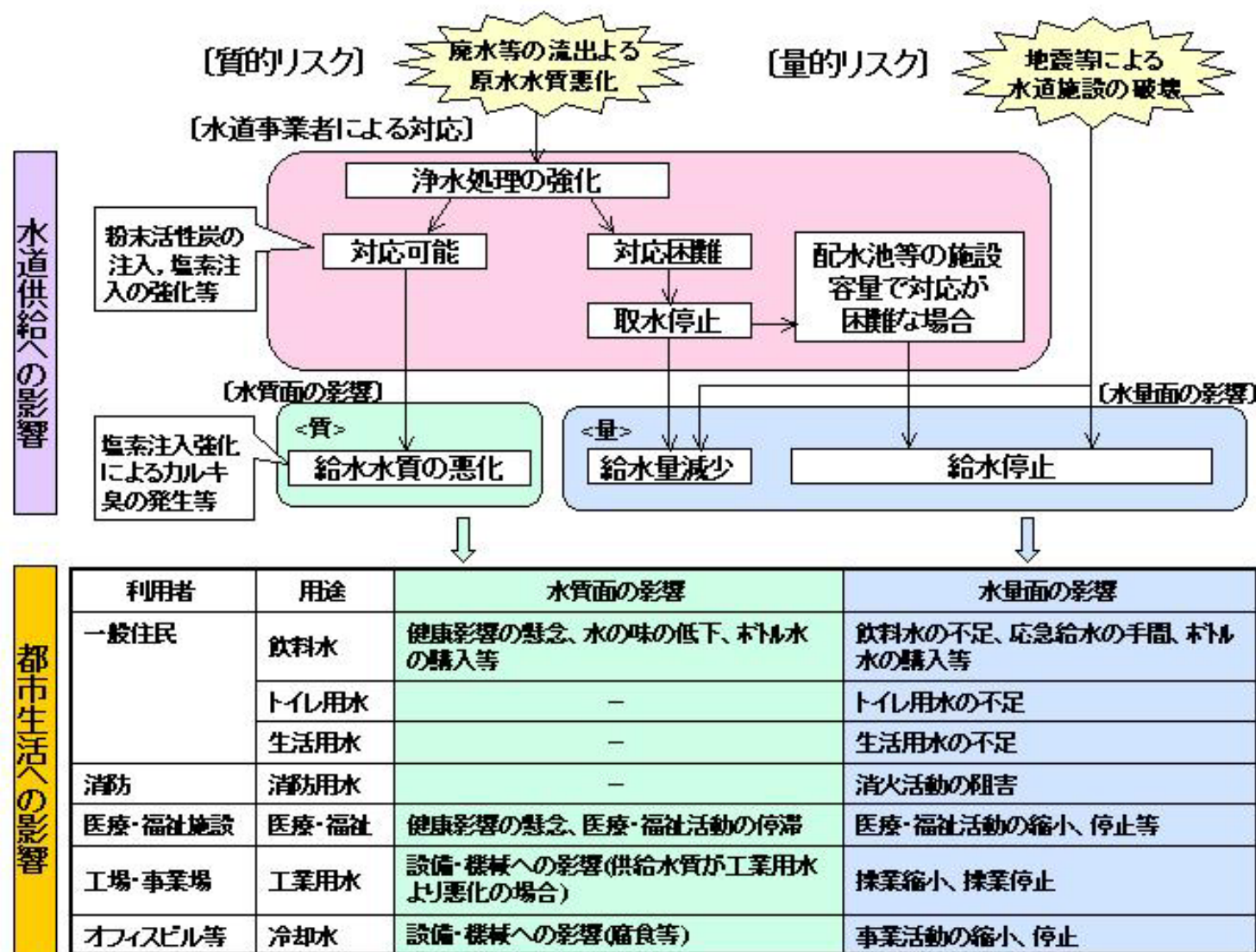
1. 汚染源からの流出水の現状把握・課題等の整理



**洪水によって冠水した富吉浄水場（宮崎市上下水道局）
（H17台風第14号による洪水）**

流域水質の総合的な保全・改善のための連携方策検討調査（厚生労働省）

2. 汚濁負荷による水道の供給及び都市生活への影響の検討



○汚濁負荷による水道供給及び都市生活への影響